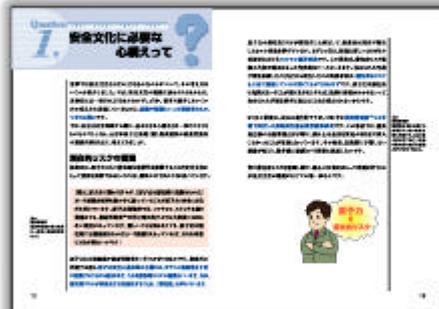
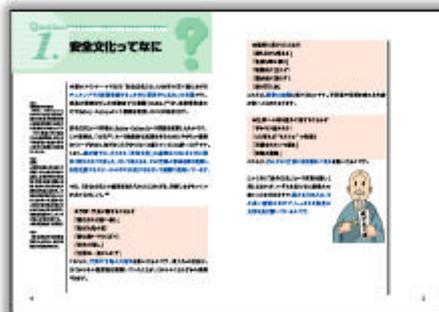


NSネット(ニュークリアセイフティーネットワーク)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室

TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665

”原子力安全文化”小冊子の制作



これまでのセミナー・キャラバン講演会の内容から、「原子力安全文化」に関して講演者の生の声やエッセンスを抽出し、出来るだけ分かり易くまとめた小冊子を会員向けに制作しました。この小冊子は単なる教科書的なものではなく、安全に関する基本的な知識や安全意識の再確認などを通じて会員の安全活動に活用できるように、解説したものです。運営委員を通じて配布していますので、一度ご覧下さい。今回は「原子力安全文化」を取上げましたが、今後も引き続きセミナー・キャラバン講演会のテーマ毎に発行していく予定です。

▲ 会員向け小冊子第1号『原子力安全文化ってなに?』

PR館設置用”NSネット紹介パネル”完成



NSネットの活動を一般の方々にも広く知っていただくため、NSネットの設立趣旨や活動を簡単に紹介したパネルを制作しました。このパネルは、各会員のPR館や事業所に掲示しています。また、当該パネルに併せて新規に作成したパンフレットも配置しています。



▲ 会員PR館設置用NSネット紹介パネル(縦型もあります)

▲ 新パンフレット

第4回評議員会開催

平成14年2月13日、東京都千代田区大手町のKDDI大手町ビルにおいて、NSネットの第4回評議員会を開催しました。本評議員会では、平成13年度の活動状況、平成14年度の活動計画及び個別課題対応について審議いただきました。



評議員会 全景



石井 座長

牧野



碧海 評議員

村上



大平 評議員
評議員

田中

< 主なご意見 >

- 安全文化は、業界、現場によって達成状況に格差があることから、NSネットが、経験を共有する"プラットフォーム"を作り上げていくことも重要である。
- ピアレビューについて、レビューポイントをユニバーサルな視点でスタンダード化することにより、だれが見ても分かるようにすることが重要である。また、レビューを行なった結果、良好事例や改善提案に至らない慣習のレベルでも、本人や自社にとって役立つものを習得することがあるため、レビューの感じ方を積み上げることにより、安全文化、安全風土の"視点の共有"をはかることができる。
- ピアレビューへの第三者オブザーバー参加について
 - ・メリットとしては、専門家が気づかない点に非専門家が気づく場合がある
 - ・また非専門家を入れること自体、「レイ・エキスパート*」を育てる意味がある。
- 第三者オブザーバーの意見を公開するなどにより、第三者の参加に対する、透明性、客観性を担保していくことも重要である。
- 安全風土の調査にあたっては、「安全文化」の意味合いを踏まえた調査方法を構築してから実施する必要がある。

*: "lay"とは非専門家であり、"lay-expert"とは専門家集団の外側ではあるが、その分野に深い理解を持つ人。

相互評価(ピアレビュー)の実施状況

今回は、第20回関西電力(株)大飯発電所で行われたピアレビューの状況を紹介します。

ピアレビューの概要及び報告書の全文をNSネットホームページに掲載していますのでご覧ください。

平成14年1月22日から25日にかけて行われた第20回のピアレビューには、(財)電力中央研究所、住友原子力工業(株)、東北電力(株)、(株)東芝、(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン及びNSネット事務局の専門家(計6名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護及び重要課題対応の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、大飯発電所では、「Our Own Plant」のスローガンのもと、安全に関わる諸活動について、フィードバックをかけるなど、常に活性化した状態に維持すべく多大の努力が払われていることが確認されました。



ピアレビュー報告書の提出
 牧野理事長(写真左)より
 関西電力(株)藤社長(写真右)

主な良好事例

- パフォーマンス指標の効果的な運用による安全文化醸成
- 緊急事態発生時の他発電所との協力体制の充実
- 所内データベースの活用による安全に係わるノウハウ等の蓄積
- 機器操作支援システムの活用
- 専用のデータベースを用いたトラブル水平展開情報の共有化

改善提案

- 緊急時対策所のインフラの充実
- 発電室内会議への他発電室当直課長のオブザーバー参加
- 臨界安全をより身近に理解できる教育資料のさらなる充実

安全キャラバンの実施状況

今回は、第32回、第33回の安全キャラバンの状況を紹介します。キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

安全キャラバンで講演いただいた内容は、NSネットにて講演録とした上で会員に配布しております。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
32	2月22日	日本核燃料開発(株)	九州電力(株) 川内原子力発電所 原子力訓練センター所長 中田真一郎 氏	川内原子力発電所の安全・安定運転 への取り組み
33	2月27日	四国電力(株) 伊方発電所	元(株)東芝 原子力事業部長 可児次郎 氏	経験を活かした原子力安全の構築



中田真一郎 氏
 (於 日本核燃料開発(株))
 「原子力発電所の安全・安定運転には、協会会社、プラントメーカー、電力会社の3者が三位一体となり、『安全・安定運転を達成しよう、守っていこう』という共通の価値観や理念を共有することが重要」



可児次郎 氏
 (於 四国電力(株)伊方発電所)
 「事故を起こさないためには、『安全の作りこみ(深層防護を盛り込んだ設計で品質の高い建設・保守)』『安全を守る仕組み作り(安全防衛のルールを作り、これを遵守し、関係者全員が安全の防衛意識をもつ)』『安全の維持・持続(適確に不安全の芽を摘み取り、過去の経験・失敗を学習し、失敗をくりかえさない)』が必要」

第4回管理者セミナー開催

平成14年3月6日、東京都千代田区大手町の朝日東海ビルにおいて、会員各事業所の管理者クラスを対象とした第4回管理者セミナーを開催し、各会員の管理者約110名が出席しました。

1. NSネットの活動報告

NSネット安全部長 田中靖久

2. 米国産業界における企業倫理の実態に関する講演

- ・「米国産業界における倫理プログラムに関する調査について」
サウスウエストリサーチインスティテュート
応用研究本部 ディレクター グレン・ライト氏
- ・「テキサスインスツルメンツにおける企業倫理への取り組みについて」
テキサスインスツルメンツ副社長
倫理・コンプライアンス部門担当ディレクター デビッド・リード氏



サウスウエストリサーチインスティテュート
ディレクター グレン・ライト 氏

3. 良好事例紹介

- ・四国電力(株)「協力会社も含めた「伊方ネット21」活動の発足」
- ・日本原燃(株)「パソコン利用による緊急時の召集及び通報連絡システム構築への取り組み」など
- ・日本原子力研究所「原子力事業所安全協力協定(東海ノア)による各原子力事業所の安全確保」など

ライト氏の講演では、ボーイング社、ロッキード・マーチン社など米国産業界を代表する企業や原子力関連企業に対して実施した倫理プログラムの実態及びその有効性などの調査結果について

また、リード氏の講演では、テキサスインスツルメンツ社の企業倫理の歩み、具体的な倫理プログラムの内容及びそれを効果的に実行するためのリーダーの役割など、同社の企業倫理への取り組みについてのお話がありました。

講演後、会場の参加者から両講師に、企業倫理を確立する上での問題点などについて活発な質問がありました。



テキサスインスツルメンツ
副社長 デビッド・リード 氏



会員による良好事例紹介後の
意見交換の様子

お知らせ

『平成14年度NSネット・トップセミナー』
を4月5日(金)に東京で開催します。
講師に宇宙開発事業団理事長 山之内
秀一郎 氏と評論家 木元 教子 氏を迎え
、ご講演いただく予定です。



NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウ
ラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全
文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネット
ワーク組織です。

NSnet News No.12 2002年3月発行

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnet.gr.jp>